

東光中学校区コミュニティ・エリア①

1 本年度の活動（わくわくフェスタ）

（1）活動の内容の紹介

保護者と先生方が協力し、年に一度、岩見沢小児童のために開催されるPTA主催のイベントで、児童が「岩小で良かった！」と思ってくれるような、そして、児童にとってワクワクするお祭りのような日になるイベント。

緑日コーナーや食べ物コーナー、手作り・リサイクル品コーナーなど、役割を分担して、工夫している。

（2）成果

当日は、300名を超えるたくさんの児童や保護者の方々が参加し、児童も保護者も笑顔があふれるイベントとなった。児童からは、「毎年やってほしい」と強い要望があった。



（3）成果につながった工夫

- ・担当役員を中心に「子どもたちに笑顔を！」を合い言葉に現PTAやPTAのOB,OGも一緒になって準備をしたこと。
- ・PTAブログによる事前の準備や内容などをお知らせしたこと。

東光中学校区コミュニティ・エリア②

2 本年度の活動（東小チャレンジ）

（1）活動の内容の紹介

PTA主催で、5年ぶりに開催されたイベント。200名以上の児童や保護者、地域の方が参加。飲食や体験活動（アルミ剣づくり、紙飛行機づくり）や地域ボランティアによる読み聞かせ、バレーボール少年団によるバザーなど、子ども達が楽しめる活動を企画。当日は、町内会の方々にも協力を得て盛大に行われた。

（2）活動の工夫

各ブース、子どもと地域（保護者と地域）の距離感を縮めるために、対話を意識した小ブースを設け、子ども達が楽しめる活動を企画した。



（3）次年度に向けて

- ・活動内容の検討（子ども達が主とした楽しめる活動するために）
- ・地域への参加協力・お手伝いの依頼の拡充

光陵中学校区コミュニティ・エリア①

1 本年度の活動（4校合同街頭指導「大人の目作戦」）

（1）活動の内容の紹介

同日、同時刻の登校時に保護者や地域の方々（町内会）、教職員が光陵中学校校区内に、一斉に立ち、児童生徒の交通安全を見守り、危険箇所等の情報共有を図る活動。

（2）成果

- ・児童生徒の交通安全はもとより、地域の方々との交流が増え、挨拶もするようになり、不審者出没等の抑止に繋がっている。
- ・危険箇所を共有することで、横断歩道や信号設置へと繋がった。



（3）成果につながった工夫

- ・各学校より参加のアナウンスを強化した。
- ・町内会へ見守りベストを配布して、着用してもらうことで、よりチーム意識が向上した。

光陵中学校区コミュニティ・エリア②

2 本年度の活動（4校合同の活動等）

（1）活動の内容の紹介

光陵エリアでは、「学校運営協議会」と「地域学校協働本部」を分けて会議を開催。協働本部は、「4Pサミット部」「地域部」の2部体制とし、各校の活動を交流している。

～主な活動～

- ・美園小育成会・4Pサミット部会 共催
- ・4校合同「健全育成懇談会」の開催
- ・参加者～4校PTA役員、CA委員、各校CS委員、町内会 他
- ・50名程の参加

（2）活動の工夫

- ・中央ブロック4校が合同で活動することは、非常に難しい部分もある。そこで、下記のことを心がけて活動している。
- ① 自校のCSを充実させること。
- ② 各校CSの今ある活動とCAや各CSがコラボするなど、無理なく、ムラなく、無駄なく推進している。



（3）次年度に向けて

4校が合同で新規で活動することは、非常に難しい部分もある。
今年度の活動を「継続」させながら、少しずつブラッシュアップさせ、CAを充実させていく。

緑中学校区コミュニティ・エリア①（北真小）

1 本年度の活動（北真夏祭り）

（1）活動の内容の紹介

昨年度から「地域とともに歩む学校づくり」「学校を核とした地域づくり」について町内会や地域企業・団体と共有し、今年度は新たに「北真夏祭り」を実施した。

『北真夏祭り』は、PTA四役を中心に企画・推進され、5町内会・9団体の協賛を得て実施した。



（2）成果

- ・当日は予想を超える約360名の参加。
- ・地域とのつながりが強くなった。

（3）成果につながった工夫

- ・町会、PTA役員、PTA会員との連携
- ・チラシの配布、町内会の会議での説明・周知
- ・申込方法に様々な形態を取り入れた（Googleフォーム、FAX、電話）

緑中学校区コミュニティ・エリア③ 第一小

2 本年度の活動（さつまいも収穫祭）

（1）活動の内容の紹介

▶日時

- ・11月18日 3～4校時

▶参加者

- ・1年生児童・緑町内会の方・交通指導員の方

▶内容

- ・生活科学学習の一環として、1年生が栽培したさつまいもを焼き、交通安全の見守りでお世話になっている緑町内会の方を学校へ招待し、一緒に試食した。



（2）活動の工夫

- ・生活科の学習と関連づけ、地域との関わりを大切にした。
- ・サツマイモの試食だけではなく、歌や踊り、手紙などで、交流を深めた。

（3）次年度に向けて

- ・交流からの学びを、さらに広げる工夫を考えたい。
- ・お互いに、win-winとなる関係づくり。

緑中学校区コミュニティ・エリア② 第一小

1 本年度の活動（長期休業中の学習会）

（1）活動の内容の紹介

▶日時

- ・計4回（7/29・7/30 12/27・1/10）

▶参加者

- ・児童のべ428名が自主的に学習会に参加

▶サポーター

- ・緑中学生ボランティア のべ89名
- ・大学生 のべ12名

▶内容

- ・児童が、第一小学校で自主学習に取り組む。



（2）成果

- ・身近な校区在住の学生によるサポートを受け、児童は、親近感を抱きながら学習に参加している様子が見られ、意欲的に学習していた。
- ・小中の児童生徒間交流が活性化した。

（3）成果につながった工夫

- ・緑中学校の全面的なバックアップ。
→キャリア教育の一環として。
- ・予算の確保（市地域ボランティア活動補助金の活用）。

緑中学校区コミュニティ・エリア④ 緑中

2 本年度の活動（花壇整備活動）

（1）活動内容の紹介

校区緑町会の方と一緒に、中学校前の花壇の整備を実施。

これまでは、緑町会さんが行っていた花壇整備に、令和5年度から本校生徒と一緒に活動しています。「どう植えたら長く咲いてくれるか。」など、花の植え方のコツを教わりながら整備を行いました。

この取り組みは、3年生の「地域連携活動」に位置付け、これからも継続して実施する予定です。



（2）活動の工夫

- ・初年度は緑町会さん主導での活動でしたが、2年目は学校が主体となり、町会と連携を図りながら取り組み、生徒の中に地域と繋がる意識が芽生えました。

（3）次年度に向けて

今後も継続して実施しますが、今後は教師主導から生徒主体の活動に移行し、生徒自身が地域と繋がる「良さ」や「大切さ」を考えることのできる活動としていきます。

緑中学校区コミュニティ・エリア⑤ 緑中

2 本年度の活動（3年総合「働くこと、地域に生きること」）

（1）活動の紹介

地域で働く方々のお話を聞いて、働く意義を考え、生徒がアイデアを出し合って、地域のためにできることを企画・立案する。

この活動を通して、地域社会へ貢献することの大切さを経験する活動です。



（2）活動の工夫

JCの協力をいただいて、講話を聴いたり、百餅祭の倉庫を見学しながら、自分たちならどんな企画ができるかアイデアを膨らませます。

（3）次年度に向けて

今年度、社会科では主権者教育の中で、議員さんを招き、岩見沢の課題を提案しました。この活動をつなげて、考えたことを議会へ提案するなどを検討します。

緑中学校区コミュニティ・エリア⑥ 緑中

2 本年度の活動（除雪ボランティア）

（1）活動の内容の紹介

桜木町会さんのゴミステーションが、大雪で埋まってしまったところを、有志のボランティアで除雪しました。

桜木町会さんからは、いつも「雑巾の寄贈」をいただいています。

生徒たちは、「雑巾のお返しです!」と元気に伝えていました。



（2）活動の工夫

生徒会主体となり呼びかけを行って、集まった有志ボランティアでの活動。

生徒が自分たちで考えて、地域のために活動しました。

（3）次年度に向けて

教員主導でなく、生徒のアイデアから出てくる活動を地域とともにさらに進めていきます。

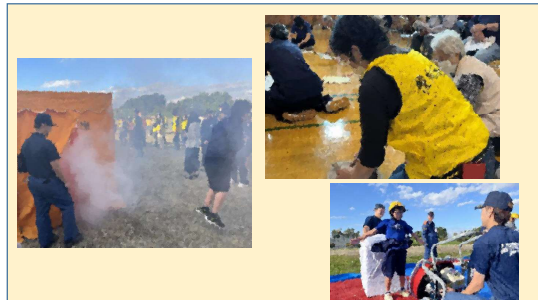
豊中学校区コミュニティ・エリア①

1 本年度の活動（地域防災訓練）

（1）活動の内容の紹介

地域住民と学校が協働して行う防災訓練を通して、地域住民に学校が避難所として果たす役割や機能について理解していただくとともに、地域と学校が連携して安心で安全に暮らせるコミュニティづくりを図る。

市防災対策室による避難所設営体験と、消防署による防災アトラクション（スモークルーム、水消火器、強風体験）の二本立てで実施。



（2）成果

参加者（児童生徒、保護者、地域住民、教職員）の満足度が非常に高く、継続を求める声があがっている。

（3）成果につながった工夫

- ・市防災対策室の「防災チャレンジ」とのタイアップ
- ・フライヤーの配付（告知）
- ・地区協など地域団体への依頼

豊中学校区コミュニティ・エリア②

2 本年度の活動（地域住民参加型の中学校 学校祭）

（1）活動の内容の紹介

学校祭の演目である、「フリーステージ」に幌向の住民の出演をいただくことで、生徒・保護者・地域住民が一体となって音楽や芸術に触れ、楽しむことを通して、コミュニティスクールの推進を図る。

2年間の中で、生徒の発表のみならず、地域住民の太鼓・ダンス・合唱・琴・バンド演奏・独唱など様々なジャンルの芸術を披露していただいた。



（2）活動の工夫

- ・フライヤーの配付（募集、告知ともに）
- ・地域住民の発掘

（3）次年度に向けて

地域住民が起ち上げた「スマイルフェスティバル」と学校祭を統合し、**新しいカタチの地域イベント**を実施する予定。

上幌向地区コミュニティ・エリア①

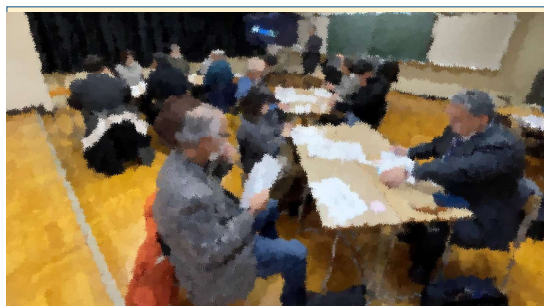
1 本年度の活動 (①「目指す子ども像」熟議 ②コミュニティ市)

(1) 活動の内容の紹介

- ①「目指す子ども像」熟議
 - ・ 7月で上幌向地区の強みと弱みの熟議
 - ・ 12月に目指す子ども像の熟議
 - ・ 熟議を重ねての決定
- ②コミュニティ市
 - ・ コロナ禍前よりも子ども大人ともに参加者が増えて、世代間交流の活発化。
 - ・ 地域各団体、各学校、PTAが、子ども・地域を繋ぐため工夫を凝らした出店。
 - ・ 町内会だより、各校ブログ等で広報

（2）成果

- ①分析後の熟議の結果、子どもや地域の実態に即した目指す子ども像の決定
- ②小中学生、保護者世代、高齢者世代と三世代の交流を実現



(3) 成果につながった工夫

- ・「各種調査結果」の分析と今後の取組(学校だより)
 - ・「各校学校評価」分析と今後の取組(当日資料説明)
 - ・「学校関係者評価」のまとめ
- を確認後に、次年度の目指す子ども像の熟議・決定

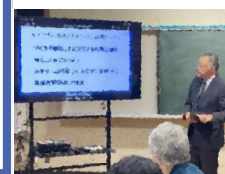
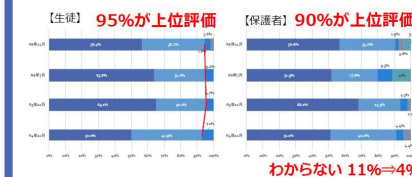
①上幌向地区が目指す子ども像の熟議・決定

きまりや礼儀の意味を考え、社会性を身につける

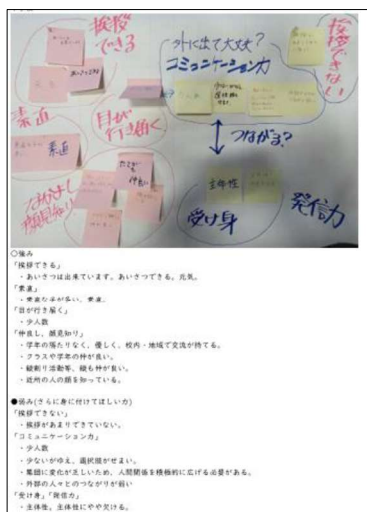
A「そう思う」・B「どちらかといえばそう思う」の割合	
令和5年度後期 【児童】 A:60.9%,B:28.1%→計:89.0% 【保護者】 A:23.7%,B:71.1%→計:94.8%	令和6年度前期 【児童】 A:52.5%,B:36.8%→計:89.3% 【保護者】 A:32.8%,B:59.7%→計:92.5%



〇〇の学級は居心地のよい場所になっている

[illegible]

①「強みと弱み」の熟議



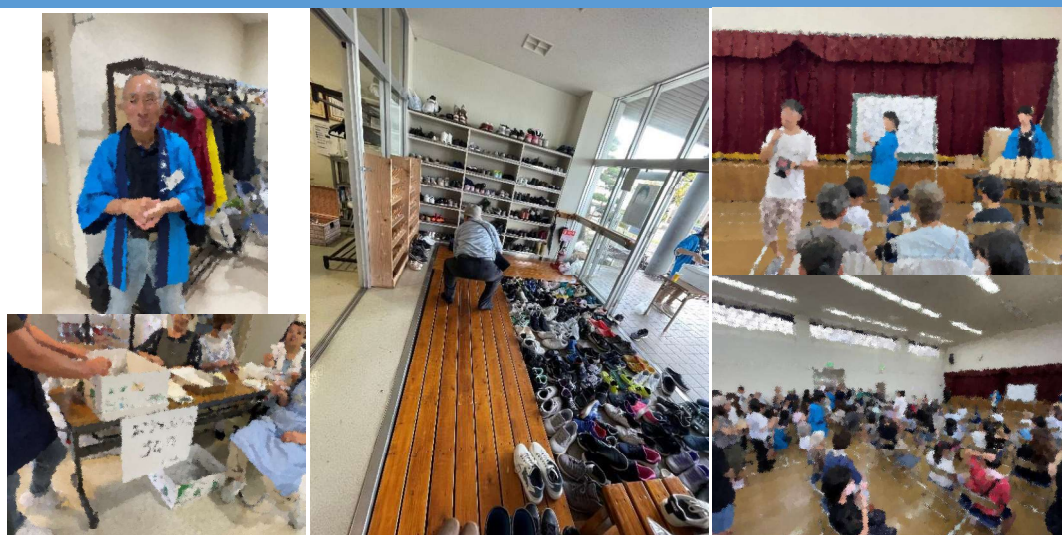
学校関係者評価

[illegible]

②コミュニティ市 8/31



②コミュニティ市 世代間交流がねらい



上幌向地区コミュニティ・エリア②

2 本年度の活動（①小中地域合同クリーン作戦 ②小中合同歌声集会）

（1）活動の内容の紹介

①小中地域合同クリーン作戦

- ・児童会と生徒会主催で、町内会の方々のご協力を得ての地域清掃
- ・小学校と中学校それぞれに地域の方が参加し、上幌向地区多目的研修会館で合流し、小・中・地域合同で交流会

②小中合同歌声集会

- ・市内合唱交流会に向け、中学校音楽教師が小学校へ4回の出前授業
- ・歌声集会には、保護者や学校運営協議会など地域の方も招待



（2）活動の工夫

- ①小中連携委員会が児童会と生徒会をサポートし、地域とつなげて子どもが主体の取組へ
- ②両校の音楽担当のサポートで、当日は児童会と生徒会が司会・進行で子ども主体へ

（3）次年度に向けて

- ・地域合同は次年度も継続で、子どもと地域のつながりを強化(町会・町内会参加を広げていく)
- ・児童会と生徒会の連携を強化し、さらに子どもが主体となった活動へ

その他、世代間交流(10/20文化交流会、11/10ボッチャ世代間交流)



①小中地域合同クリーン作戦

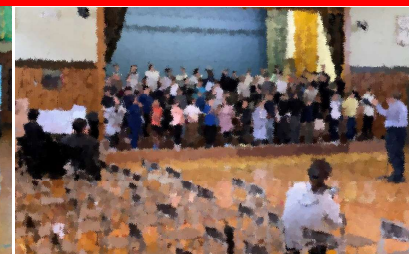
小学校から出発



①小中地域合同クリーン作戦 中学校から出発



②小中合同歌声集会 10/2



①小中地域合同クリーン作戦 合流して集会5/14



清園中学校区コミュニティ・エリア①

1 本年度の活動（防犯教育）

（1）活動の内容の紹介

児童生徒や地域住民の参画による「地域安全マップ」の作成や、防犯教育の専門家や警察等関係機関と連携した防犯教室等の実施を通して、児童生徒が「危険回避能力」を身に付けるとともに、学校・地域・行政との連携による「犯罪を起こさにくい環境づくり」を構築する。

◆実践内容◆

- ①防犯意識に係る事前アンケートの実施
- ②月毎の重点指導事項の設定と指導（毎月）
- ③防犯教室の実施
- ④地域安全マップづくり【児童生徒・地域住民】
- ⑤取組の方向性や内容の検討、成果と課題の整理・分析

（2）成果

- ・児童生徒・地域住民の防犯意識を高めることができた。
- ・児童生徒の「危険回避能力・危険判断能力」及び地域住民の「犯罪を起こさにくい環境づくり」への関心を高めることができた。



（3）成果につながった工夫

- ・「景色読解力」など、防犯意識を高める事前学習及び防犯教室の開催
- ・「地域安全マップ」づくりにおいて、同じ居住地の子どもと住民に特化したグループ編成・協議

清園中学校区コミュニティ・エリア②

2 本年度の活動（キャリア教育）

（1）活動の内容の紹介

地域の企業・個人事業主の職業に関わる講話や職業体験ができるキャリア授業「ティーンザニア」を通して、子どもが「働く」ことの意義ややりがいを知ったり、自分自身が身に付ける必要がある資質や能力について考えたりする。

事前学習…「働く」ことについてのイメージや企業・個人事業について探究する。
当 日…「ティーンザニア」での職業講話・体験を通じて「学びや気づき」を得る。
事後学習…「ティーンザニア」のふりかえりと、自分の将来に向けた「働く」を具体的に考える。



（2）活動の工夫

- ・子どもが興味関心を持つ企業・個人事業主の招聘
- ・調整役を担う地域コーディネーターの活躍
- ・企業や個人事業主にとってのメリットを創出

（3）次年度に向けて

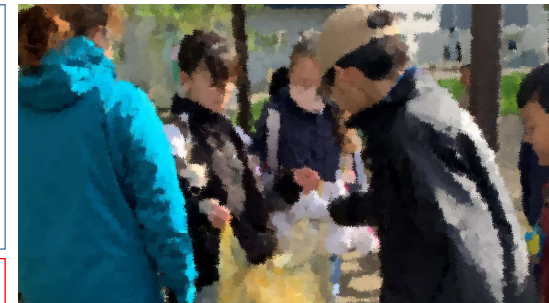
- ・カリキュラムへの位置づけ（小中接続キャリア教育）
- ・子どもの探究を重視した授業展開・職業選択
- ・地域コーディネーターの関わり・外部人材の確保

日の出・明成中学校区コミュニティ・エリア②

2 本年度の活動（公園の清掃）

（1）活動の内容の紹介

児童生徒、地域の方々によびかけて地域の児童生徒が使用する数カ所の公園を中心に清掃した。公園へ向かう道すがら、地域の方々と危険箇所や通学路等の情報を共有しながら、清掃を行う。地域をきれいにすることや地域の方との交流をすることで子どもたちに地域行事に参加する意識を育む。



（2）活動の工夫

C Sが中心となって、公園清掃活動の周知を図り、ポスターの作成、町内会の回覧板の活用、専用サイトの開設等の取組を行った。
昨年度、今年度ともに児童生徒100名ほどが参加し、地域の方々との交流を図ることができた。

（3）次年度に向けて

今後も地域の方々への広報活動に努め、児童生徒の地域行事への参画意識を高めていく。年数を経ていくことにより、持続可能な行事となるよう努めていく。

日の出・明成中学校区コミュニティ・エリア①

1 本年度の活動（熟議）

（1）活動の内容の紹介

地域としてのよさをこれからの子どもたちに伝えていくとともに、具体的な活動につなげていくために、「日の出地区のよさを子どもたちに伝えよう」というテーマで話し合いを行った。長くこの地域に住んでいる方だからこその思いや地形・地質的な特徴、住んでいる方の人柄等、たくさん話題を交流することができた。



（2）成果

サマーフェスティバルを中心とした連携や世代間の交流、PTAの献身的な協力、小学校中学校の強い連携などのキーワードをいただき、今後のC Sの活動の中心となるスローガンの策定につながった。

（3）成果につながった工夫

連絡・報告のみの会議にならないよう熟議の場面を設け、学校運営協議会委員が話し合いを重ねてきた。ワークショップを取り入れ、話しやすい場づくりをした。

北村中学校区コミュニティ・エリア①

1 本年度の活動（北村冬のアクティビティー体験）

（1）活動の内容の紹介

とき：2/2
場所：北村球場跡
内容：スノーモービルで引くそり体験
バナナポート等で滑る雪の滑り台
地元のお父さんが手作りしたかまくら
地元の食材を使った飲食コーナー
関連：2/2～9には、夜間、予約制でウインターマルシェ開催。かまくらの中で美味しい鍋の提供を実施。



（2）成果

2年目で地元に着定し、来場者は184名（内、子ども94名）を数え、昨年からほぼ倍増した。特に幼児から小学校低学年までの親子連れが多く若いご夫妻に関心を持ってもらえた。

（3）成果につながった工夫

いのきた（北村地域イノベーション推進協議会）の主催として、潤沢な予算で行えた。保育所や学校でチラシ配布を行い広く周知できた。

北村中学校区コミュニティ・エリア②

2 本年度の活動（農作物栽培活動）

（1）活動の内容の紹介

とき：令和6年4月～令和7年1月
場所：学校田、学校畑他
内容：5、6年稲作体験の外部講師
3、4年畑作体験の外部講師
栽培の事前授業（外部講師による座学）
ジャックオーランタン製作
手作り豆腐体験
収穫物の調べ学習と発表
収穫祭でのカレーライス提供



（2）活動の工夫

地域コーディネーターを窓口にして、農家の方々に連絡調整をお願いしている。PDCAサイクルで子どもの思いと外部講師の希望を取り入れ、工夫改善した。

（3）次年度に向けて

餅米を収穫し、6年前に学校行事としては精選した「餅つき集会」を、地域行事として、保育園、小学校、中学校、地域の連携で復活させる企画が動いている。

栗沢中学校区コミュニティ・エリア②

2 本年度の活動（スポーツフェスティバル）

（1）活動の内容の紹介

6月1日（土）、子どもたちの主体性向上と地域でのつながりを深めるために、今年から小学校・中学校・保護者や地域の方々为一体となった「スポーツ・フェスティバル」を開催しました。
澄み切った青空の下、まさに3世代が集う栗沢地域全体が活気あふれる1日となりました。



（2）活動の工夫

- ・練習をあまり必要としない縦割り班による団体種目をメインとした
- ・保護者や地域住民が参加する種目も用意した

（3）次年度に向けて

- ・児童生徒の日々の取組に焦点を当て、過程・プロセスを重視した行事づくりに挑戦していく
- ・スポーツフェスティバルを通じて、学校、保護者、地域が一体となった、より豊かで持続可能な教育活動を前進させる

栗沢中学校区コミュニティ・エリア①

1-1 本年度の活動（こども園小中一貫教育）

（1）活動の内容の紹介

人口減少や少子高齢化が進行し、地域活力が失われていくことが懸念される栗沢地域で、これまでの学校間連携の実践をより発展させ、0歳から15歳まで全ての子どもが格差なく質の高い学びへと接続できるよう、幼児期の教育から義務教育への教育の充実を図っています。

令和6年度からは、子どもの成長を中心に据え、関係者の立場を越えた連携により、発達の段階を踏まえた教育の連続性・一貫性の下に、接続期「架け橋期」の教育の充実に力を入れています。



（2）成果

- ・小中一貫校としての取組が加速的に進展した
- ・栗沢エリア架け橋プログラムを作成することができた
- ・道教委地域連携研修を通して、専門家を招き合同研修を行った
- ・こども園・小・中学校職員同士の相互理解が図られた

（3）成果につながった工夫

- ・CS委員が中心となり、架け橋期ワーキンググループ会議を開催した
- ・子どもの実態や「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をもとに育みたい資質・能力について協議した
- ・こども園・小中教職員間の親睦行事を設定した

栗沢中学校区コミュニティ・エリア③

3-1 地域学校協働本部との連携（学校支援）

（1）活動の内容の紹介

授業や学校行事の準備・運営の補助、地域と連携・協働した教育活動、校内清掃、学校周辺の環境整備への参加等、これまで教職員が担ってきたものの、地域住民等が協働することでより効果的になるよう支援を行っています。

【主な内容】

- ・休み時間など見守り
- ・清掃、修繕
- ・登下校の見守り
- ・ふるさと学習
- ・部活動への支援
- ・職場体験 など



（2）成果

- ・学校の教育活動や地域の学校に対する期待など、相互の情報交換が密になった
- ・地域人材が支援・協力しているので、保護者も安心して学校教育活動に参加できる

（3）成果につながった工夫

- ・グラウンドデザインや経営ビジョンで地域との協働を明確にした
- ・地域と学校が育てたい子どもの姿を共有した

栗沢中学校区コミュニティ・エリア④

令和7年 開校
栗沢学園

3-2 地域学校協働本部との連携（地域と学校が協働する授業づくり）

（1）活動の内容の紹介

学校からの一方的なお願いで行う授業ではなく、育てたい子どもの姿や授業の目標を共有し実施しています。地域と学校による協働的な授業づくりを通して、「本物と出会う授業」を目指しています。

【実施実績】

- ・「プッポコベッポコ」の皆さまによる読み聞かせ
- ・ふるさと学習
- ・英語教育
- ・書写（毛筆）指導
- ・放課後子ども教室 など



（2）成果

- ・子どもの学びを通じて、大人（教師と地域）が学んだ
- ・子どもは地域をよく知り、地域の方に心を開いている

栗沢中学校区コミュニティ・エリア⑤

令和7年 開校
栗沢学園

3-3 地域学校協働本部との連携（ダンプレライブなど）

（1）活動の内容の紹介

12月8日（土）に栗沢市民センターにて、地域学校協働本部主催のダンプレライブが行われました。ダンプレとは、踊る吹奏楽で北海道発祥の新しい演奏スタイルです。SIT Band・札幌国際情報高校吹奏楽部と栗沢中学校吹奏楽部とのコラボで会場は大いに沸きました。

ほかにも、キンボールやモルックなどにも取り組んでいます。



（2）成果

- ・「栗沢のコミュニティスクールは栗沢にしかない」栗沢地域でしかできないことに挑戦ができた